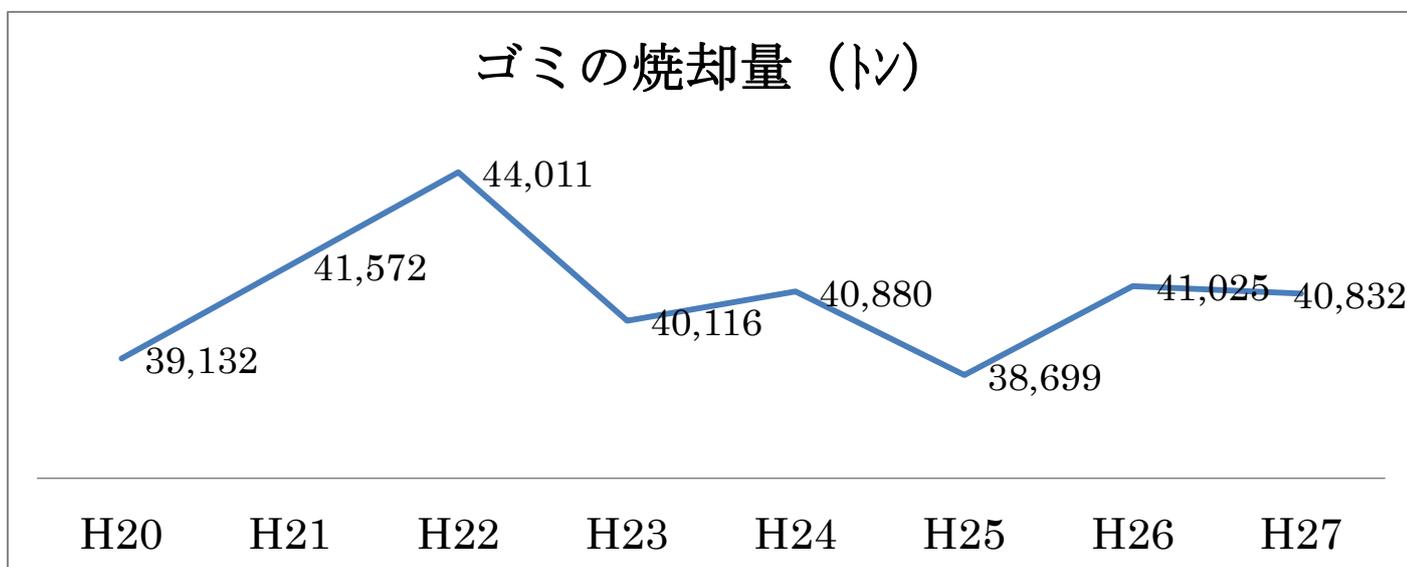


これまでの「ゴミ焼却量」「CO2排出量」の推移

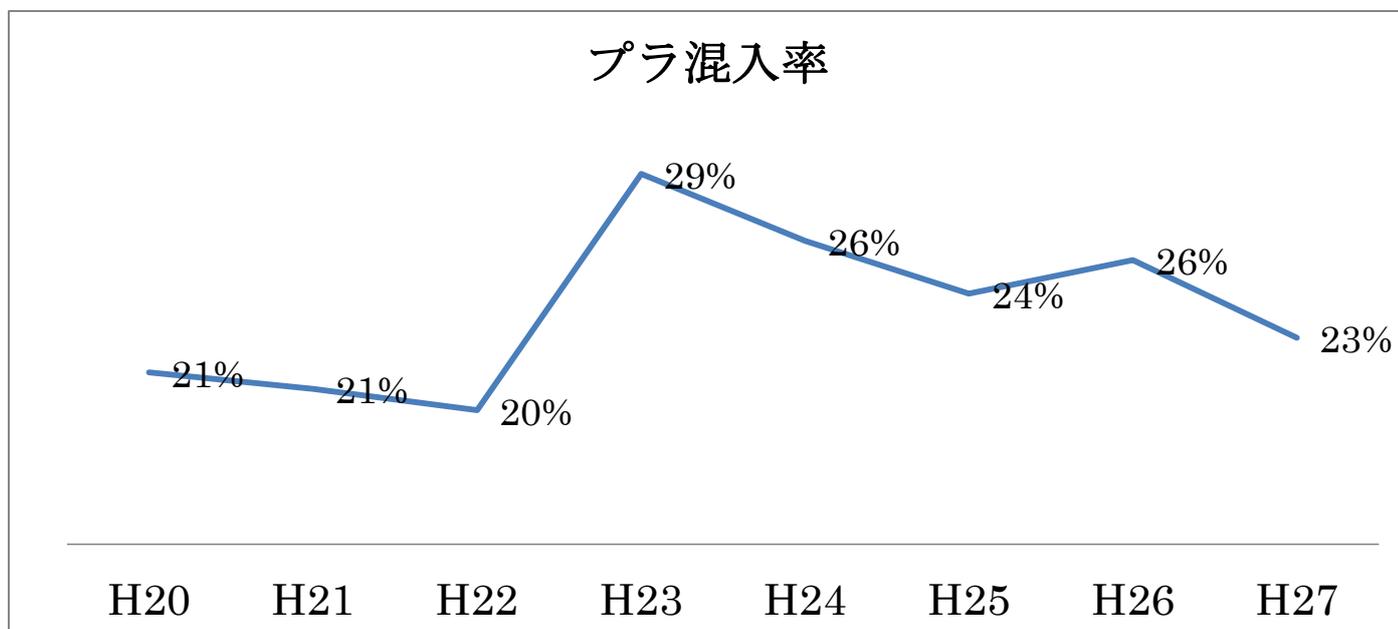
2016-10-27
可燃ごみ減量PJ
春田育男

1、ゴミ焼却量



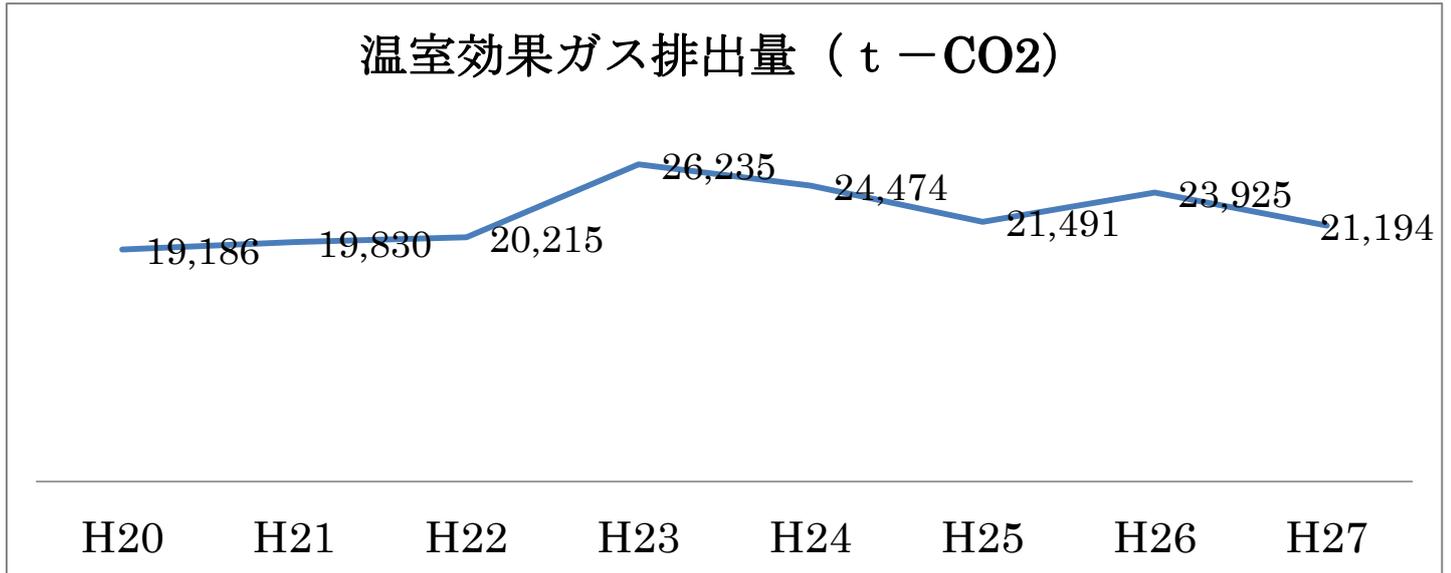
* ゴミ焼却量は増加傾向が見られるので更なる減量活動が必要と思われる。

2、プラスチック混入率



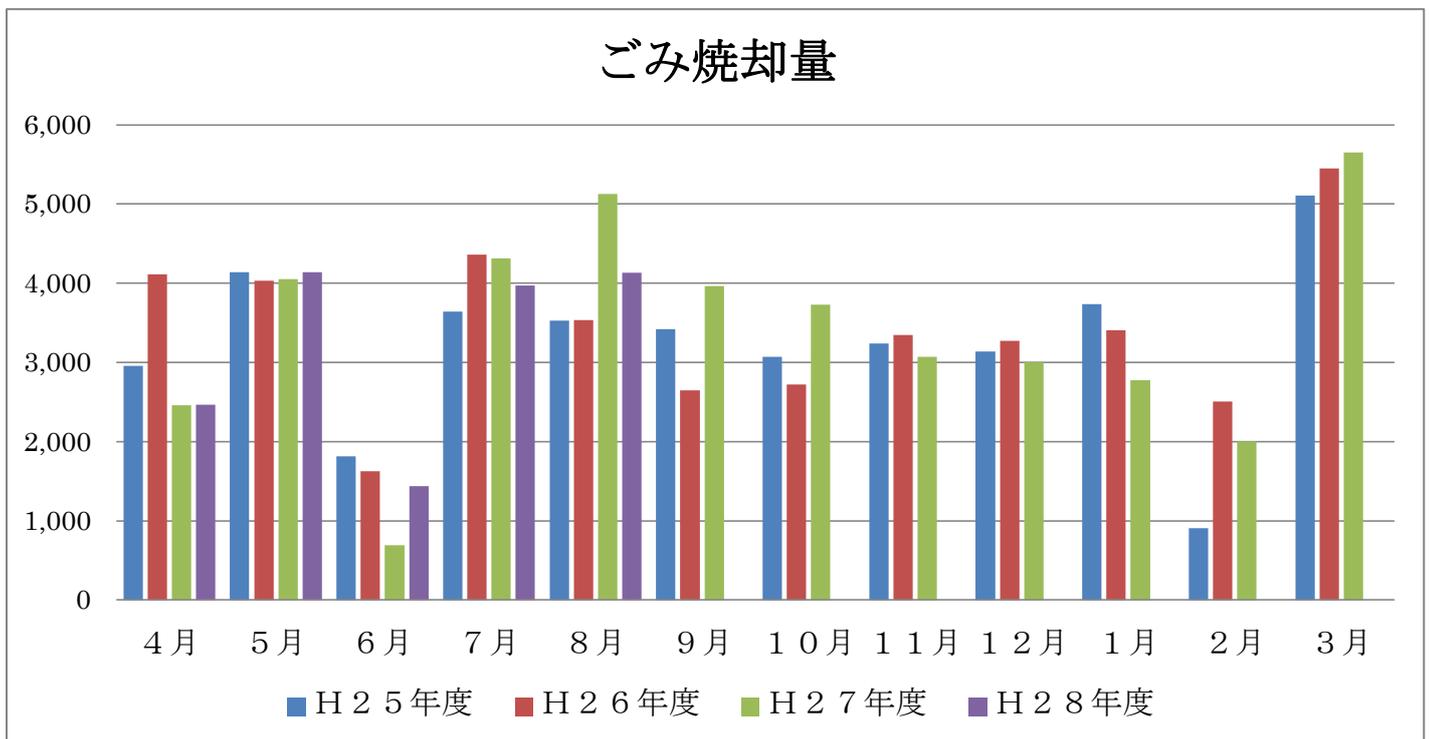
* プラ混入率は減少傾向が見られるが、H22年の20%を目指したい。

3、CO2排出量



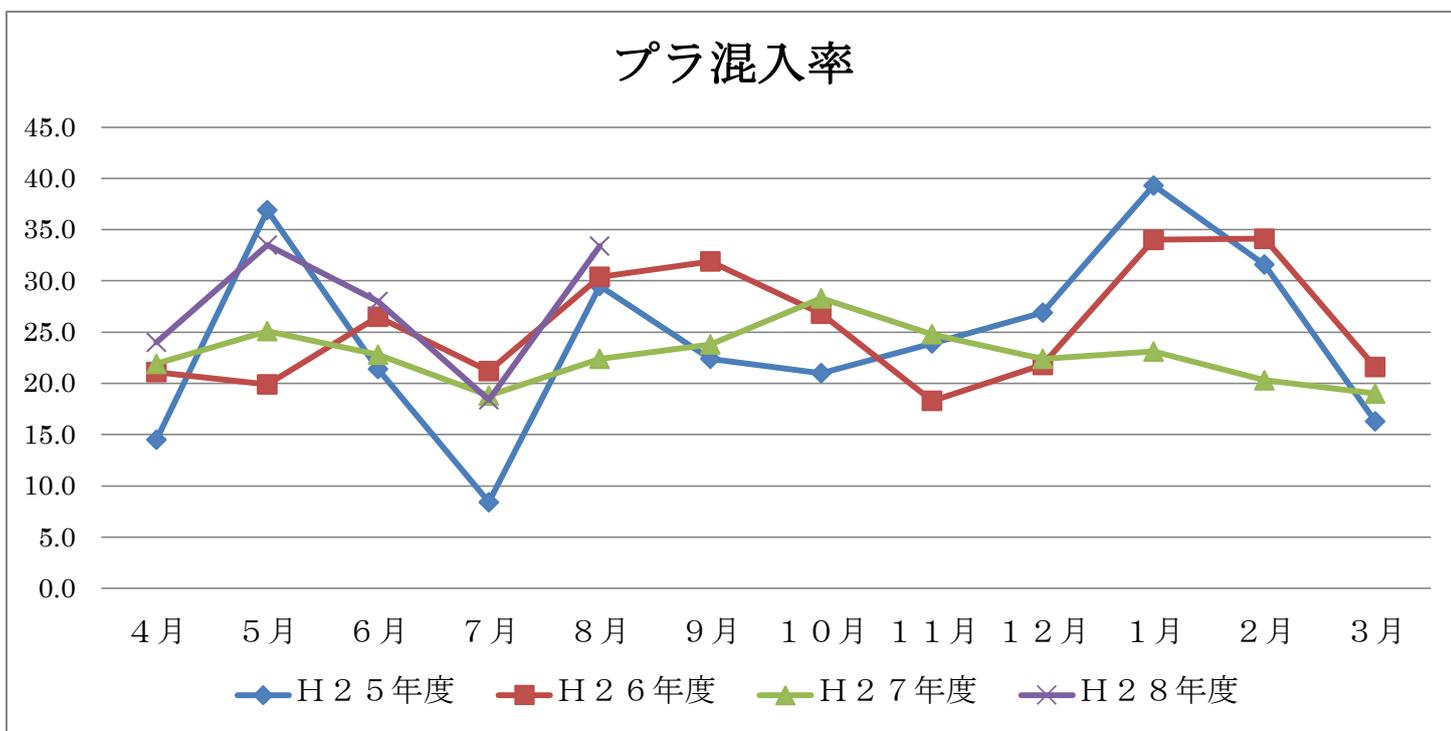
- ①：プラ焼却量 = (ゴミ焼却量) * (プラ混入率) * 80% (水分率)
- ②：二酸化炭素CO2排出量 = プラ焼却量 * 2.765 (排出係数)
- ③：メタン = (ゴミ焼却量) * 0.00000095 (排出係数) * 25 (地球温暖化係数)
- ④一酸化二窒素 = (ゴミ焼却量) * 0.0000567 (排出係数) * 298 (地球温暖化係数)
- * 温室効果ガス排出量 = ② + ③ + ④

4、月別推移 (ゴミ焼却量)



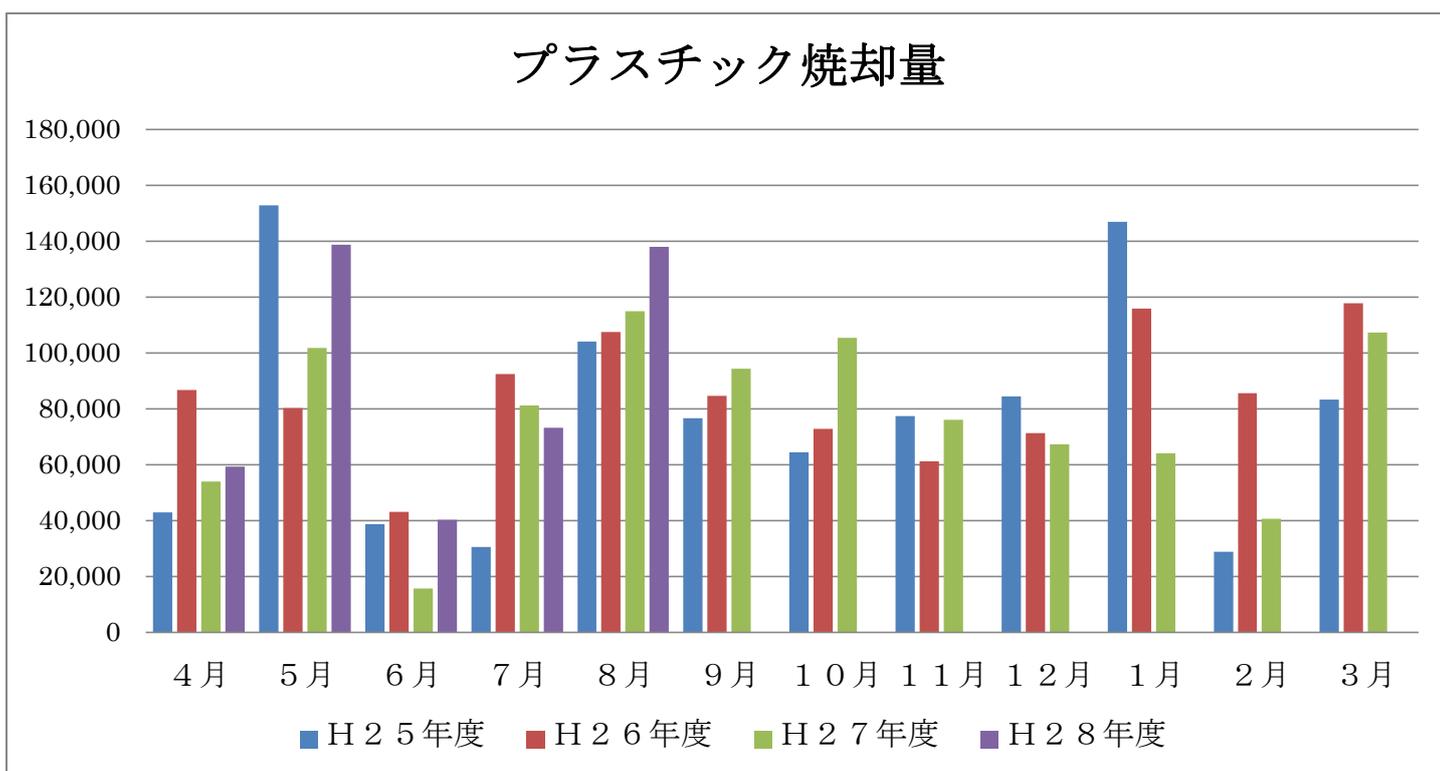
* 月によりゴミ焼却量が変化している。月別に分析する必要がありそうです。

5、月別推移（プラ混入率）



*月によりプラ混入率が変化している。月別に分析する必要がありそうです。

6、プラスチック焼却量（CO2排出量もほぼ同じ傾向）



*プラスチックの焼却量は、ゴミ焼却量×プラ混入率で決まる。（CO2排出量も同じ傾向）

*CO2排出量を削減するには、プラ混入率を20%に押さえ、ゴミ焼却量を減量化する活動が必要です。